



ダイバーシティ推進活動における「女性活躍推進」の取組実態に関する調査

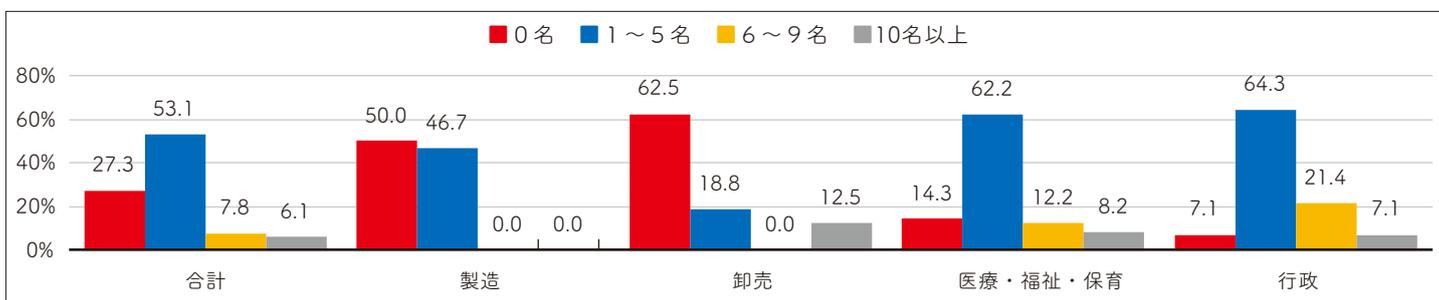
大分県内の企業等を対象に2018年に実施した、「ダイバーシティ推進活動における「女性活躍推進」の取組実態に関する調査の調査報告書(グッドプラクティス&データ編)を発行しました。結果の一部をご紹介します。

なお、組織調査、個人調査どちらも18の事業所から回答をいただきました。その中から、回収数が多かった業種、「製造」「卸売」「医療・福祉・保育」「行政」についてそれぞれ提示しました。



ダイバーシティ推進活動における「女性活躍推進」の取組実態に関する調査(グッドプラクティス&データ編)について、冊子をご希望の方は、ダイバーシティ推進本部までご連絡ください。

【組織向け質問】 Q 組織内の管理職(課長相当以上)のうち女性は何名ですか。



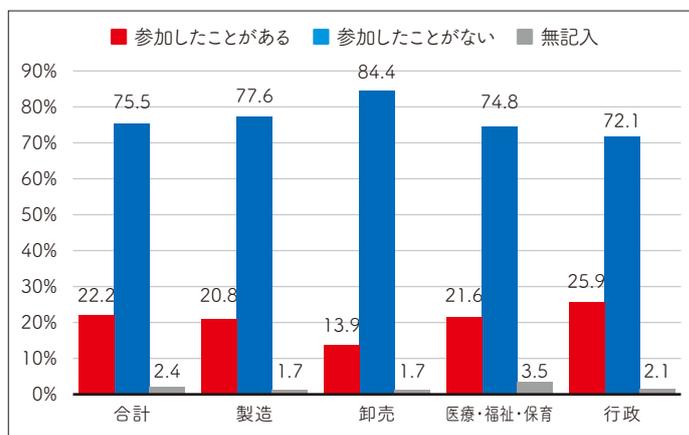
女性管理職の在籍数について、全体では、0名が27.3%、1~5名が53.1%、6~9名が7.8%、10名以上が6.1%という回答結果でした。また、「製造」「卸売」では、半数以上の組織が0名と回答しました。

【個人向け質問】 Q あなたは異業種交流会に参加したことがありますか。

異業種交流会の参加有無について、全体では右のグラフの通り、参加したことがあると回答した人は22.2%、参加したことがないと回答した人は75.5%でした。

業種に関わらず、参加したことがない人の割合が多いことが分かりました。

また、職位別の参加率をみると、管理職層は38.0%、管理職以外は18.7%となり、職位によって倍の差があることが分かりました。

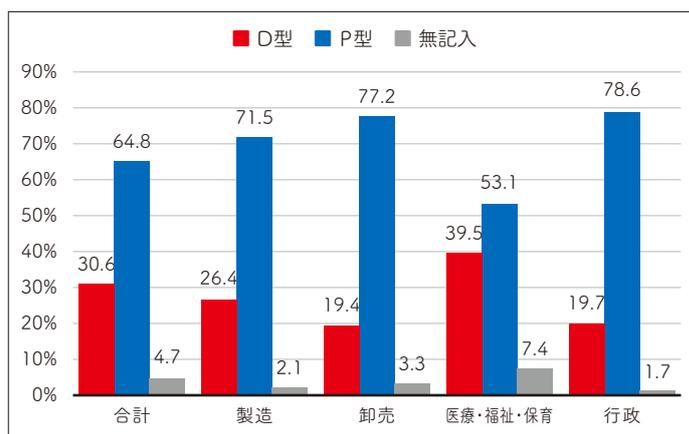


【個人向け質問】 Q あなたが判断されるご自身の所属組織の構造はどれでしょうか。

ご自身の所属組織の構造について、全体では、D型と回答した人が30.6%、P型と回答した人が64.8%でした。また、「医療・福祉・保育」分野では、D型と回答した人が39.5%、P型と回答した人が53.1%でした。

※本調査において、D型とP型は次のように定義しています。

D型(ダイバーシティ&インクルージョン型): 多様な社員・職員と管理職が、横のつながりで互いに影響を与え合う構造。
P型(ピラミッド型): 昭和的なピラミッド型の「管理職」を軸にした階層構造。



◆英語論文セミナー

開催日：2019年6月28日(金)

21名
参加

Adarsh Sandhu氏（電気通信大学教授/学長補佐）を講師にお招きし、英語論文の書き方セミナーを開催しました。「IMRAD式による論文の書き方」や「サイテーションを上げるためのコツ」等について学びました。



◆第4回異業種交流会

開催日：2019年7月26日(金)

4回目となる異業種交流会を開催しました。まず三浦憲太郎氏（富士甚醤油株式会社総務部総務課）に、企業の現状、課題、目指す姿等について発表いただきました。その後、グループに分かれ、「組織のダイバーシティを高めるにはどうすればよいか」、「どのような会社に魅力を感じるか」、「どのような福利厚生・風土が望ましいか」等について、大分大学の女子学生も交え意見交換を行いました。

32名
参加



◆科研費獲得セミナー

開催日：2019年8月30日(金)

安部恵祐氏（大分大学URAチーム助教）にご登壇いただき、科研費獲得セミナーを開催しました。科研費改革後の科研費採択調書の傾向をはじめ、書き方のコツや最新情報等について学びました。

また、セミナー終了後には、先着で2名の女性研究者に対し、科研費獲得に関する個別指導を行いました。大分大学をはじめ、別府大学・日本理科大学からも教員・職員が参加しました。

15名
参加



◆ダイバーシティセミナー

開催日：2019年9月26日(休)



支える経営者の想い～“変わりたくない”組織の改革～というテーマで、春田氏と松岡氏に組織を立て直すうえでの想いや苦勞をお聞きしました。

初めに、「女性感性によって生まれる世界に通じる商品と、組織改革」と題し、春田和城氏（菊水酒造株式会社代表取締役）と松岡良美氏（菊水酒造株式会社経営企画部副部長）にお話しいただきました。次に、「健康で安全な職場づくり～看護職の働き方改革への挑戦～」と題し、村上眞須美氏（青森県立保健大学看護学科准教授）にお話しいただきました。次いでトークセッションでは、「右肩下がりの組織を立て直した“挑む女性”と

45名
参加

